

衆議院環境委員会ニュース

【第198回国会】平成31年3月12日（火）、第2回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・原田環境大臣（原子力防災担当大臣）、城内環境副大臣及び政府参考人に質疑を行いました。
（質疑者）秋本真利君（自民）、横光克彦君（立憲）、山本和嘉子君（立憲）、小宮山泰子君（国民）、西岡秀子君（国民）、古屋範子君（公明）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

秋本真利君（自民）

地球温暖化対策関係

- ア パリ協定に基づく我が国の長期低排出発展戦略を早期に策定する必要性
- イ エネルギー供給構造高度化法に基づく小売電気事業者の非化石電源比率の利用目標達成に係る中間評価について環境省と経済産業省が緊密に連携協力を図る必要性
- ウ 再エネ海域利用法に基づく国による促進区域の指定及び事業者の選定に当たって後々の手戻りが起きないような環境影響評価を組み込む必要性
- エ 政府の電気調達における再生可能エネルギーの調達比率を高めるよう環境省がリーダーシップをとる必要性

横光克彦君（立憲）

- (1) 名護市辺野古沖の普天間飛行場代替施設建設事業関係
 - ア ブログにおいて戦前の政治家斎藤隆夫の言葉を引用して決意を示した原田環境大臣の真意
 - イ 現在進められている辺野古沖の埋立事業と開発と環境保全との両立を図る環境影響評価の考え方との整合性に関する原田環境大臣の認識
 - ウ 環境を保全する立場に立つ原田環境大臣から同事業について安倍内閣総理大臣に意見具申する必要性
- (2) 脱炭素社会に向けた政府の取組関係
 - ア 我が国が石炭火力発電の廃止を目指す脱石炭火力国家連合に参加していない理由
 - イ 大臣所信において示された石炭火力発電に対する厳しい対応の具体策
- (3) ESG金融関係
 - ア ESG金融に関する環境省の取組
 - イ 気候変動リスクの開示義務化及び金融機関の動きを促進する取組の必要性
- (4) 原子力防災対策関係
 - ア 全ての原発地域において「避難計画は作れると考えている」旨の衆議院予算委員会における原田原子力防災担当大臣の答弁（平成31年2月14日）の根拠
 - イ 実効性のある避難計画等ができなければ原発を再稼働させることはできないとの考えに対する原田原子力防災担当大臣の見解
- (5) 福島県内の除染、中間貯蔵施設関係
 - ア 環境省の取組の現状
 - イ 仮置き場に置かれている除去土壌等への対応状況

山本和嘉子君（立憲）

- (1) 名護市辺野古・大浦湾における自然環境保全関係
 - ア 環境影響評価における環境保全措置の基本的考え方
 - イ サンゴ類及び海藻類の代償措置についての防衛省の見解
 - ウ 埋立てにより消滅するウミガメ類の産卵場所の代替地創出の有効性を検証する必要性
 - エ 埋立工事がジュゴンの行動圏に与えた影響についての防衛省の見解
 - オ 生息数が極めて少ない沖縄のジュゴンの系統保存を行う必要性
 - カ 特定外来生物の侵入防止対策として検討されている埋立工事に使用される県外からの土砂の熱処理の内容
 - キ 辺野古・大浦湾の自然環境保全の必要性についての原田環境大臣の所見
- (2) 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル関係
 - ア 我が国の再生可能エネルギー導入ポテンシャル量の分野別割合
 - イ 我が国の再生可能エネルギーによる発電設備容量の現状
- (3) プラスチック資源循環戦略案関係
 - ア プラスチック資源循環戦略案における 3R の優先順位及び熱回収に力点を置かない戦略を策定する必要性についての原田環境大臣の見解
 - イ プラスチックに吸着又は含有される化学物質が人体に与える影響

小宮山泰子君（国民）

- (1) 動物愛護関係
 - ア 平成 31 年 1 月に視察した犬猫の譲渡会についての感想及び今後の取組への活用方針についての原田環境大臣の見解
 - イ 災害時における実験動物の安全確保及び実験動物を取扱う施設の実態把握のために目配りをする必要性についての原田環境大臣の見解
- (2) プラスチック資源循環戦略案関係
 - ア 海洋プラスチックごみとなっている主要製品
 - イ 現在検討されている戦略の目的及び主な内容
 - ウ プラスチック容器包装廃棄物の有効利用率についての世界全体と我が国との数値比較の妥当性
 - エ カーボンニュートラルの具体的内容及びバイオマスプラスチックが全てカーボンニュートラルか否かの確認
 - オ 環境負荷の低い新素材の研究開発への取組に関する現状、予算措置及び今後の計画
 - カ 可燃ごみ用指定収集袋についてバイオマスプラスチックの使用・熱回収を原則とすると定めた経緯
 - キ 製品プラスチックの一括回収なども含めた取組を行う必要性についての原田環境大臣の見解
 - ク 「プラスチック・スマート」キャンペーンの概要
- (3) G20 議長国として世界の目指す目標に対して周回遅れの未来像を示すことにならないよう我が国の環境分野の目標設定を見直す必要性に関する原田環境大臣の所見
- (4) 地域循環共生圏の創造に向けた牽引力発揮についての原田環境大臣の決意

西岡秀子君（国民）

- (1) 地球温暖化対策関係
 - ア COP24 でのパリ協定の実施指針採択を受けての温室効果ガスの 2030 年度排出削減目標達成に

向けた我が国の取組

イ 温室効果ガスを 2050 年までに 80%排出削減するという長期的な目標の実現可能性についての原田環境大臣の見解

ウ 米国のパリ協定離脱が我が国に与える影響についての原田環境大臣の見解

エ 環境政策と経済成長の好循環を図ることについての原田環境大臣の見解

(2) 気候変動適応法関係

ア 気候変動適応計画の閣議決定を受けた今後の取組

イ 気候変動適応法に基づく地方公共団体の取組に対する環境省の対応状況

ウ 気候変動適応策を行うための人材及び財源が地方公共団体で不足しているとの指摘に対する環境省の見解

(3) マイクロプラスチック関係

ア 海域を浮遊するマイクロプラスチックの実態把握の現状

イ マイクロプラスチックによる生態系への影響についての調査状況

古屋範子君（公明）

地球温暖化対策関係

ア COP24 の評価についての原田環境大臣の所見

イ 各国が温室効果ガス排出削減目標を引き上げる必要性についての環境省の見解

ウ 我が国がG20 議長国として、地球温暖化対策において世界をリードすべきという考えに対する城内環境副大臣の見解

田村貴昭君（共産）

(1) 石炭火力発電関係

ア 石炭火力発電所の新增設計画の中止又は燃料転換の主な理由

イ 東京電力福島第一原発事故以降の電力需要の推移と今後の見通し及び再生可能エネルギーの普及状況

ウ 九州電力により実施された出力制御時の石炭火力発電の出力制御の状況

エ 大臣所信で石炭火力発電に厳しく対応するとした原田環境大臣の真意

オ 石炭火力発電所の新增設を認めるか否かについての原田環境大臣の見解

(2) プラスチック資源循環戦略案関係

ア 戦略案におけるリデュース、リユース、リサイクル及び熱回収の優先順位

イ 熱回収に依存しないよう熱回収の削減目標を立てる必要性についての原田環境大臣の見解

ウ パリ協定の目標達成のためにも熱回収を削減すべきとの考えに対する原田環境大臣の見解

エ 熱回収削減に向けた展望を戦略としてまとめる必要性

(3) 水俣病関係

ア 環境省が昨年5月に日本神経学会に対しメチル水銀中毒に係る神経学的知見に関する意見照会を文書で行い回答を得たという事実の有無

イ 同意見照会の目的及びその内容

ウ 環境省が行った意見照会のやり方は恣意的なものであるとの意見に対する原田環境大臣の見解

エ 水俣病の解決に責任を負う環境省として今回の意見照会についての水俣病患者団体からの公開質問状に回答すべきとの意見に対する原田環境大臣の見解

オ 水俣病患者団体に対し環境省の立場を説明すべきとの意見に対する環境省の見解